



NEWS RELEASE

2018年3月17日

3期工事の地鎮祭を開催

来年4月から生産開始



挨拶する船木ウーケ社長

株式会社ウーケ（代表取締役社長：船木秀邦）は、3月16日（金）に現工場の東側に新設する建設予定地で3期工事の地鎮祭を開催し、関係者が安全を祈願しました。

3月16日（金）13時30分から工場造成敷地内で笹島入善町長、上田県議会議員、小城富山県商工労働部企業誘致監、細田みな穂農協組合長、小栗全農連富山県本部長、藤尾益造神明取締役、(株)日立プラントサービスなど関係者ら約50名が参加。船木ウーケ社長が鍬入れを行い、出席者が玉串を捧げました。

船木社長は「海外販売向けの新たな拠点となる工場にしたい」と挨拶し、笹島入善町長と小城富山県商工労働部企業誘致監が祝辞を述べました。

新工場の敷地は 28,137 m²、用地費を含めた総工費は 33 億円。2018 年 4 月から建設工事に着手し、2019 年 4 月から「パックごはん」の生産を開始する予定です。増設ラインでは年間 4,300 万食を製造することになり、現工場の生産量と併せると年間生産量は 1 億 2,000 万食になります。

今回の増設により、海外への年間輸出量を現行の 4 倍となる 100 万食に拡大する予定です。



地鎮祭の参列者

以上